

平成 30 年 6 月月例記者会見

会見記録

1. 記者会見

【 説 明 】

〔熱中症予防対策 今年度の新たな取り組み〕

市長 大変痛ましい事故が生駒市であったことを踏まえまして、既に昨年の夏、事故の直後から取り組みを行っていますが、本年度も非常に暑くなるシーズンの前に新たな取り組みを行いますので報告します。

ひとつめは小学校の運動会の日程です。小学校の運動会の日程が、2 学期始まってすぐの非常に暑い時期に練習して、まだまだ暑い時期に運動会を実施していましたが、この暑い時期を避けて 10 月の第 3 土曜日にずらします。中学校、幼稚園につきましては、もともと 10 月に開催しておりましたので、特に変更はございません。

ふたつめは、8 月 12 日～15 日の 4 日間、小中学校を完全に閉庁して、部活動も行いません。趣旨としては、教職員の働き方改革という視点と、夏場のエネルギーの需要抑制の 2 つの意味に加えまして、夏場でもいちばん暑い時期に小中学校を閉庁し、部活も行わないことで、熱中症対策にも繋がります。

3 つめも中学校の部活動の関係です。部活動の休養日を、今まで文科省等の通知に沿って、週で必ず平日 1 回と、土曜日日曜日の週末で年間 12 日間を休養日としていましたが、それを拡大して今後は原則として平日 1 日の休みに加えて、土日どちらかは確実に休むことにします。部活動を少し余裕を持ったものにするのと、活動時間についても、平日は 2 時間ぐらい、土日につきましては 3 時間ぐらいにと、時間的にも一定配慮をしていくということでございます。

最後 4 つめが、健康課でチラシを作りました。シンプルで分かりやすいものですが、こういうものを配って、夏場に学校だけでなく、いろんな方に見てもらって、水分が不足していれば水分塩分を補給してもらうためにセルフチェックしてもらうものです。

また、これまでに取り組んでいる熱中症対策は、資料 2 ページ以降にまとめています。こちらのほうも今年もしっかりと取り組んでいきます。

〔保育士・幼稚園教諭を求めています！『資格をいかそう!相談会』を開催〕

市長 これは既に昨年度秋にも開催しましたが、いわゆる、資格を持っているが、子育てなどいろんな事情で一度退職をされ、またもう一度保育士・幼稚園教諭に復帰できる環境があるという人向けに、新卒ではなくて、いわゆる潜在保育士を対象を絞った説明会を開催します。

昨年度開催して、かなりの成果があったので、今年度は回数を増やして行っていきます。昨年度この事業を行ったところ、66 名が参加して、そのうち 17 名が実際の勤務に結びつきました。また、それによって 17 名の子どもたちを受け入れることができました。また、去年は 2 回の開催でしたが、今回は 4 回に増やして開催します。

例えば、保育士がフルタイムで 1 名いることで 0 歳児だと 3 人のお子さんの枠が増えます。もちろん、施設の方の受け皿等がうまく合えばということですが。ちなみに 17 名勤務に結びついて、17 名の子ども

もが受け入れとなっていますが、これはフルタイムではなく週 3 回であるとか、半日だけ勤務であるとか、非常に柔軟な働き方で受け入れていることによるもので、いろんな勤務形態がありますので、受け入れることができた子どもが 17 名という結果になったということでご理解をお願いします。

子育てを終わられて復帰を考えておられる潜在保育士の心配事として、年齢的に、体力的に不安があるとか、昔と制度が変わっていて不安があるとか、週 5 日フルで働くのはすこし厳しいので柔軟な働き方をしたいとか、いろんなニーズがあるので、園のほうにもそのあたりの柔軟性を持って受け入れ体制を取ってくださいお願いした結果、去年かなりの受け入れができたので、今年も同じスタンスでやって頂くということでございます。潜在保育士ならではの不安に応える説明会になっています。詳細につきましては、資料を参照してください。今回はイオンモールの協力も得まして、秋はイオンモールの登美ヶ丘店でやらせていただくということになっております。詳細につきましては、こども課にお問い合わせください。

【コンビニでの証明書交付率全国 1 位】

市長 生駒市のコンビニでの証明書の交付率が全国 1 位になった報告です。生駒市は、平成 23 年の 4 月から、全国相当早い段階で住民票の写しなどのコンビニ交付サービスをスタートしました。これがかなり定着いたしまして、平成 30 年 3 月末時点の平成 29 年度で交付率が全国 1 位になりました。コンビニ交付サービスは、マイナンバーカードを使ってコンビニで各種の証明書を交付してもらえるサービスで、市民からも非常に好評です。生駒市に住民票がある人が東京にいてもコンビニから取れます。相当に早い段階からこのサービスを導入しています。市民課でもマイナンバーカード交付に非常に力を入れてくれています。ちなみにマイナンバーカードの交付も平成 30 年の 3 月 1 日現在で、全国の特別区と全ての市を合わせて全国第 8 位、17.6%となっています。マイナンバーカードが非常に普及していることに加えて、かなり昔からコンビニ交付のサービスを実施していることが合わさって、この交付率全国 1 位に繋がりました。平成 28 年度のデータでは全国第 2 位でしたが、29 年度交付した数が 32,262 通、交付率が 26.8%で、全国の平均が 2.4%であることから、コンビニ交付を生駒市がどれだけ活用しているかが分かっていたかと思えます。

【エコ&ピースキャンドルナイト in いこま】

市長 これは、昨年度ピースキャンドルナイトはベルステージで行い、エコの取り組みはクールアースデー、7月7日七夕の日に、天の川がよく見えるようにライトダウンし、合わせて残業をやめて市役所の電気を消し、市役所玄関前でクールアースデーのキャンペーンを行いました。去年は別々の場所で実施しましたが、今年は7月7日の七夕の日に、クールアースデーのイベントと平和を見つめなおすピースキャンドルナイトの取り組みをいっしょにやろうということです。7月7日の6時半からベルステージで行います。

今年もベルステージで、園児が作ったキャンドルのデコレーションもありますし、ステージイベントもごさいます。去年のクールアースデーの取り組みで、近畿大学の環境関係の ECO CREW というサークルといろいろコラボさせてもらったので、今年も 6 時半にスタートする前に、ワークショップをもらって、廃油を使ったエコキャンドルを作ってもらったりというイベントを行います。

詳細につきましては、環境に関することは環境モデル都市推進課に、ピースキャンドルナイトは防災安全課にお問い合わせいただければと思います。

【「生駒ケーブル 100 周年キャンペーン」を実施します】

市長 最後に、生駒ケーブル 100 周年ということで、近鉄と生駒市の合同キャンペーンを行いますのでご紹介をいたします。

ご案内のとおり生駒のケーブルは、日本で初めて営業が開始されたケーブルカーで、1918 年の 8 月 29 日に営業を開始しています。ちょうど今年が営業開始 100 年にあたるので、いろんなイベントを予定しています。主に近鉄がされる事業として、オープニングセレモニー、これは私も行きます、ケーブルカーにヘッドマークを付けるとか、特別なデザインの乗車券を配るとか、いろんなことを実施されます。山上遊園地でブルミケソフトクリームを発売したり、いろんなイベントがこの夏行われますので、是非ご取材頂ければと思います。

生駒市が実施することとしては、観光フォトコンテストに生駒ケーブルの特別部門を設けることや、生駒育児ネットがやってくださっているプラレール広場に生駒ケーブルとのコラボを 7 月 8 日に実施するとか、駅前の図書室で展示をすとかということをやっていきたいと思っています。是非ご取材いただければと思っております。

詳細につきましては、資料をつけています。またご質問がございましたら商工観光課にお問い合わせください。

【 質疑応答 】

【熱中症予防対策 今年度の新たな取り組み】

記者 熱中症の背景としては、以前の死亡事故の件が念頭にあるのでしょうか。

市長 はい。事件は、私も関係者もずっと忘れてはいけない話だと思います。8 月 16 日、事故があった日を「安全を確認する日」と定めています。熱中症の事故が非常に大きなきっかけになっているということは、今年の取り組みについても同じ、変わってないということです。

記者 熱中症に対する取り組みに対する決意などあれば。

市長 未来あるこれからの中学生が熱中症で亡くなったということは、非常に重いと受け止めています。わたしも市長として生駒市にいる間はもちろん、私の人生最後までこの事故は忘れることなく胸に刻んで、しっかりと市政をしていかなければいけないという覚悟、決意はずっと持っています。学校も去年 1 年、熱中症対策をがんばってやってくれましたが、2 年目 3 年目となっていくことで少しずつ緩みとか出てくるということがくれぐれもないよう、あらためて学校関係者、職員、生涯学習各施設の職員に、もう一度私から、また教育長等からねじを巻き、当然やらなければならないことをもう一度きちんとやるということの確認をしたいと思っています。

【コンビニでの証明書交付率全国 1 位】

記者 コンビニの証明書と一般のシステムの件と合わせた質問になりますが、あらためて生駒市が交付率全国 1 位になったと聞かれての感想と、今後どのように普及を進めていきたいとお考えでしょうか。

市長 いろいろなサービスをやる中で市民に知っていただき、「これいいな」と活用していただくことが何より大切だと思っています。よいサービスを作っても、それをきちんと市民に知っていただけてなくて、活用してもらえなかったりとかでは、我々行政マンとして大変残念な気もします。コンビニ交付をかなり早い段階から生駒市はスタートをして、それを市民の皆さんがきちんと理解をして使っただけで、全国 1 位ということは、何よりうれしいことだと思います。

記者 どういう面が一番市民の皆さんに受けたと思いますか。

市長 コンビニなので時間をあまり気にせず使えること。いろんな事業をしておられる方も「昼間

なかなか仕事で忙しいんだけど、夜いつでもコンビニで証明書が取れたりするというのが大変ありがたいね」という声を何人にも聞いています。そういう部分で利便性が高いことと、市役所まで来なくてもいい、もちろんコンビニで交付すると安く交付が受けられることもインセンティブになっていると思います。

記者 コンビニ交付サービス利用促進に努めたということがありますが、どういったことをしたのか。

市長 マイナンバーカードを持っていることが前提となるので、マイナンバーカードの普及をしっかりと市民課で頑張ってPRしてくれました。その結果、特別区と市合わせて700から800ある中で全国8位、17.6%の交付率です。そういう意味でマイナンバーカードをしっかりと持ってもらう取り組みを市民課で非常に熱心にやったことが一つあると思います。コンビニ交付サービスのPRも、かなり熱心にやったことと、市の施策やサービスに関して良いものであれば非常にアンテナ高く情報を受け止め活用して下さる市民性があるのかなと思っています。市の努力と市民が良い形で受け止めてくれていることで利用が噛み合わさったのかなと思っています。後は、歴史の長さということもあって、市民に徐々に浸透してきたのかなあと、そして使ってみたらとても便利であったと、一度使われたらリピーターとして使っているというところもこの数字に繋がっているのではないかと考えております。

2. その他

〔大阪府北部地震〕

記者 昨日の地震のことについてお伺いしたいのですが、奈良県は郡山、隣接した大阪では大きな被害があった。今回の地震を受けて、市長があらためて足元で防災対策なり必要だなと思った点があれば、どういったことにこれから力を入れなければいけないかとか思われたことがあれば教えていただきたいのですが。

市長 まず、大阪の方で命を落とされたかたが4名いらっしゃるということについては、心からご冥福をお祈り申し上げます。生駒市では幸い大きな被害はありませんでしたが、学校の窓ガラスが割れたりとか、各家庭でも家具がずれて中の食器が割れたとかの被害があったということです。生駒市も災害に強いまちだと言われてきた経緯はありますが、そうではなく、市民、もちろん職員も危機意識を持って、生駒市でも大きな災害が起こる可能性が十分にあるんだということで、備えをしておかないといけないと思ったことが一番大きな点であります。

生駒市では平時から建築課や営繕課等で市内の公共施設を中心にしっかりと耐震性の確認や点検を行っています。あらためて今回こういう地震があったので、市内のパトロールを行い危険箇所がないか確認をしています。

また、学校施設は既に昨日安全点検を指示して対応をしてくれていますし、今日は学校施設だけでなく、公共施設全てをあらためて確認をし、問題があれば建築課、営繕課等が行って更にチェックをするという対応をとることで今動いています。お子さんや高齢者のかたが犠牲になられたという大変心が痛むことがあったので、日ごろからしっかりと対応はしていますが、あらためて生駒市でも襟を正してしっかりとやっていきたいと思っています。また余震の可能性もありますし、今日は雨も降るということでございます。生駒市は土砂災害警戒区域が非常に沢山指定されていますので、土砂災害対策については引き続き引き締めて、しっかりと対応していきたいと思っています。

記者 今回ブロック塀が倒れて、小学生がなくなったということがあったと思うんですけども、その件についてはどのように受け止めておられるでしょうか。

市長 営繕課が建築基準法に基づいて、毎年各公共施設の点検を行っています。その時に塀や他の付属施設をきちんと点検してくれているというのがまず一つあります。それだけでなく、学校関係者、公

共施設の施設管理者に連絡をして、この地震でどこか損傷したところはないかとか、危険な気になる点がないかなど、総点検をしています。高槻市の壁については建築基準法違反だということもあり、行政としてきちんとやっていたら防げた事件ということにもなりますので、我々もそういったことが生駒市で起きないように、出来る限りのことを全てきちんとやらなければいけないと思っております。

記者 生駒断層帯の問題であるとか、帰宅困難者の問題、やはり大阪にお仕事に行かれるかたが多いと思うんですけども、それらの対策についてはどうですか。

市長 生駒断層帯は東南海トラフ地震と合わせて、市長に就任した日から、起こるかもしれないということで備えています。生駒断層帯が生駒の近くを通っているということは、生駒市の大きなリスクなので、それを意識した準備と訓練をやっておかなければいけないと思っています。今回の地震は他人事ではないなど、もう一度あらためて対応を考えていかなければいけないというふうに思っています。

帰宅困難者については、私も大阪から暗がり峠を越えて帰ってきたが経験があり、非常に大変だったことが分かります。昨日も実際に近鉄が止まって、生駒駅の構内が人で溢れていたということで、帰宅困難で困っておられるかたを収容したり、市の施設へ一定対応していくようなことも含めて、今後どのような対応ができるのかということを考えて行きたいと思えます。

子どもたちはちょうど登校時間だったので、ぎりぎり子ども達と別れたという時間帯だったので、いちばん心配なのは家のほうに残してきた子どもたちだったり、介護している高齢者の方だったりということだと思います。しっかりとそのあたりの情報発信をやっていかななくてはいけないと思えます。子どもたちが無事で学校にいますよ、ということであれば、それをメールとかを使って保護者に連絡していくような対応や、いろんな情報発信についても災害対応、安全確保の次に大切だと思っていますので、帰宅困難者という切り口ではないんですけども、市民の皆さんに情報発信をするということを意識して災害対応をしていきたいと思っています。

記者 昨日は実際にメールとかあったのですか。

市長 学校によって対応が違ってまして、ちょうど登校の時間帯でしたので、自宅で待機して下さいと指示を出していたところありますし、全員が学校にいた時間帯ではないということでそこは非常に難しかったところもありますが、皆さんがきちんと学校に安全でいますよということの連絡をしたところもあると聞いています。一部の保護者からは自分の子どもの安否を気遣う連絡もございました。そのあたりは、しっかりと学校と連携して対応していきたいと思えます。

(了)